

1 単元設定の理由

(1) 単元について

本単元は、四万十川の恵みがもたらす食に目を向け、地域で昔から続く米作りの体験や農業に携わる人々との関わりを通じて、自分たちで作った四万十農法米を活用して地域を盛り上げるために何ができるかを考え、多くの人に発信する活動である。

四万十市は、豊かな森が広がる山間部と、市の中央を流れる四万十川の支流に広がる平野部を有する中山間地域である。四万十川下流部である校区（具同地域）には水田が広がっているが、大雨のたびに浸水する遊水地帯であったため、大規模な堤防工事や水害対策が行われるほど厳しい状況のなか、古くから米が生産されてきた。日本人の主食である米は、児童にとっても身近な食材であるが、近年は農業就業人口の減少や高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加による自然環境への影響など様々な問題を抱えており、四万十市も例外ではない。四万十市では平成26年に「40010 日プロジェクト」を立ち上げ、「四万十農法米」の生産を通して、四万十川の環境保全や農業の後継者不足の問題に対する取り組みを行っている。

そこで、児童にとって身近な食をめぐる問題として「米」を取り上げ、そのなかでも環境に配慮した方法で生産されている「四万十農法米」をテーマに設定した。本単元の一連の学習活動を第4学年の総合「四万十川の保全」や第5学年社会科「食糧生産」の学習と関連付けながら行うことで、多面的に四万十市の農業の現状を捉えたり、既習事項や他教科での学びと体験学習とを関連させて考えを深めたりすることができるように考える。また、私たちの食糧生産を支え、尽力する地域の農家や生産者との関わりをもつことで、農業の諸問題を自分自身に関わりのあることとして捉え、自分たちも地域のためにできることはないだろうかと考え、専門家や仲間と協働して地域を盛り上げようとする主体的な姿へと繋げたい。

(2) 育てようとする資質・能力及び態度について

本単元を通して特に大切にしたいことは、C「学びに向かう力・人間性等」の「②意思決定し行動する力」であり、「四万十市の農業の現状や体験したことを通して、地域を盛り上げるために何ができるかを考え、専門家や仲間と協働して多くの人に発信することができる」児童の姿を目指す。

これらを達成するために、「直接体験」と「人との関わり」を軸に学習を構成していく。米作りに関わる様々な体験や地域の農家や生産者との関わりを通して得た情報を、思考ツール等を活用して整理・分析し、思考を可視化することで、自分の考えをより自覚できるようにする。その際に、考えを整理・分析する時間を十分に確保することで、一人一人が自分の考えを持ち、話し合い活動へと展開できるようにする。そうすることで、問題を自分事として捉え、自分と他者の考えとを比較・検討したり課題解決に向けて追及したりすることができるように考える。また、食糧生産に携わる専門家へのインタビュー活動や講話等を通じて、四万十市の農業の現状を自分たちに関わる現実的な問題として実感できると考える。さらに、問題解決に尽力する専門家の姿を間近で目にするすることで、問題意識が一層高まり、探究的に学習に取り組むことへ繋がると考える。そのなかで、仲間や専門家等の他者と協働して地域を盛り上げるためにできることを考え、主体的に取り組むことができるようにしたい。

(3) 児童について

児童は、第4学年で四万十川での体験活動やインタビュー活動を通して四万十川の抱える環境問題に目を向け、川の保全を行うための方法を考えて多くの人に発信し、四万十川を守ろうとする活動を行った。「アユの放流体験」「水辺の楽校」「屋形船体験」など四万十川での様々な体験を通して、四万十川の魅力を実感するとともに、四万十川はきれいな川であるかどうかという疑問をもとに「水生生物調査」を行うことで、体験して分かった事実と結びつけ、根拠を示しながら議論をすることができた。これらの活動を通して、児童は、四万十川が抱える環境問題に対して自分たちができることを考え、多くの人に発信できたことに自信を持つとともに、四万十川とそれに関わる様々な魅力を実感し、「いつまでも大切にしよう」というふるさとへの誇りを抱くことができた。

第5学年では、4月に「おいしいお米を作って地域の人たちや観光客に販売し、地域を盛り上げよう」とゴールイメージを抱き、『四万十の食で地域を盛り上げ隊』として活動を開始した。校区にある精米所への見学をきっかけに、米作りに必要な水田を借りて田植えをする等、目標に向けて計画を立て、体験活動を行うなかで新たな課題を見つけ、次の活動へと繋げてきた。その際、体験したことを自分自身や他者、社会と関わらせて考え、話し合うことができている。また、当初は販売活動を行うことが目的であったが、環境に配慮した四万十農法米の存在を知り、その生産方法に取り組んだことで、収穫したお米の活用方法を改めて話し合おうと考えるなど、主体的に課題解決に向けて提案したり、多様な意見を出し合って議論を深めたりできるようになってきている。

(4) 指導について

①身近な探究課題を設定し、体験活動や専門家との関わりを通して、児童の主体性を高める

校区（具同地域）では以前から米の生産が行われているが、児童にとって「米」は地域の自慢であるという意識はあまりなく、実際に米作りを体験した経験のある児童も少ない。また、四万十市の農業は高齢化や後継者不足など多くの問題を抱えている現状にあり、農業を行っていくには様々な苦労がある。そこで、米作りの体験を実際に行うことで農家の人々の工夫や努力を実感したり、資料を活用した調べ学習を通して四万十市の農業の問題について考えたりする学習を設定した。さらに、そこから生まれた疑問を解決するために、農業に携わる人々へのインタビューを行ったり講話を聞いたりする経験を重ねることで、目的意識をもって主体的に取り組み、米作りに関わる問題を自分自身のこととして捉えることができると考える。

②四万十農法米の活用方法について多面的な視点から考える

四万十市が行っている「40010日プロジェクト」は、40010日＝約100年であり、“100年後も四万十川の保全を願って取り組む”ことを目的としている。このプロジェクトの取り組みの一つである「四万十農法米」は、環境に配慮した生産手法が採られている。川に泥水が流れない浅水代掻き法、農薬を慣行農法比5割削減、売り上げの一部は四万十川清流保全基金に寄付、という3つの環境に配慮した手法である。地域を盛り上げる方法を考える視点として、四万十農法米だからこそできる活用方法を考えさせたい。環境に配慮している生産手法を採っている四万十農法米を自分たちの地域の自慢として地域の人や観光客にPRしたり、将来の環境保全を願って工夫や努力をしている農家や生産者の人たちについて紹介したりすることもできる。当初は販売活動を行うことだけを考えていた児童が、多くの体験活動や専門家との関わりを経験したことで、収穫したお米の活用方法を多面的に考え、様々な人を対象に多様な活用ができるのではないかと根拠や目的を示しながら議論することができると考える。

③体験活動や専門家との関わりの中で得た情報を可視化し、整理・分析を行う

四万十市の農業の現状についての4つのデータから読み取ったことと専門家の話から得た情報

を思考ツールに整理したことで、情報が可視化され、四万十市の農業の課題が明らかとなった。それをもとに、「この課題に対して、自分たちが力になれることはないだろうか。」「こんな方法でも地域を盛り上げることに繋がるのではないだろうか。」と考えた児童もいた。このように、情報を構造的に整理し可視化することで、児童の思考を深め、協働的な学習を充実させることができるよう、目的に応じて適切に取り入れて活用したい。

2 単元の目標

- 米作り体験や食糧生産に携わる人々との関わりを通して、四万十市の農業の現状と課題やその改善に向けて取り組む人々の工夫や努力について気付く。(知識及び技能)
- 四万十市の農業の現状や体験学習から得た情報を整理分析し、地域を盛り上げるために自分たちができることを表現することができる。(思考力・判断力・表現力等)
- 四万十市の農業の現状や体験したことを通して、地域を盛り上げるために何ができるか考え、専門家や仲間と協働して多くの人に発信することができる。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

資質能力	育てたい力	目指す子どもの姿
A 知識及び技能	①各教科で習得した知識及び技能を生かす力	ア 四万十市の農業の現状についてのグラフを読み取り、体験学習と結びつけながら四万十市の農業の課題について考えることができる。 イ 調べた内容を使って、四万十農法米の良さをPRするためのポスター作りや呼びかけ等を行うことができる。
	②総合的な学習で獲得した知識及び技能	ア 四万十市の農業の現状は、後継者不足や耕作放棄地の増加による環境の悪化等の問題を抱えていることに気付く。 イ 四万十市の農業の変容は、自分たちの生活など身近なことに影響をしていることに気付く。
B 思考力・判断力・表現力等	①課題を設定する力	ア 四万十市の農業についての体験学習や専門家の話から得た情報をもとに、課題を設定している。
	②情報を収集する力	ア 食糧生産に携わる人々の工夫や努力について、体験活動を通じて実感することができている。 イ 疑問や課題を解決するための手段を考え、積極的に情報を収集することができている。
	③整理・分析する力	ア 資料や体験学習で得た情報を思考ツール等を使って整理分析することができている。 イ 四万十農法米を活用して地域を盛り上げる方法について、これまでの経験や他者の意見を根拠としながら、より良い活用方法を検討することができている。
	④まとめ・表現する力	ア 米作りの体験や四万十市の農業の現状を整理・分析し、地域を盛り上げるために考えたことについて、新聞記事等に表現することができている。
C 学びに向かう力・人間性等	①自分自身を理解し生き方を考える力	ア 米作りや四万十市の農業の現状について、調べたことや専門家の話から、自分の生活を見つめ直している。 イ 四万十市の農業の現状が抱える課題に対し、地域を盛り上げるために自分たちができることを考えようとしている。
	②意志決定し行動する力	ア 環境に配慮して生産された四万十農法米を活用し、地域を盛り上げるために自分たちにできることを考えている。

<p>○稲の成長を観察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・田植えのこつを農業のプロ佐田さんたちに聞いてみよう。 ・緑色からだんだん黄色に変わっているね。 ・穂ができているね。 ・田んぼにはたくさんの生き物がいるよ。 	<p>B②ーイ</p>
<p>米作りについて分かったことを新聞にまとめよう。(3時間)</p>		
<p>○調べたことや体験したことをもとに、おいしいお米を作るために大切なことを新聞にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今は機械のできる作業も、昔の人たちは手作業で苦勞してお米を作っていたんだね。 ・協力しないと一人の力ではお米は作れないんだ。 ・おいしいお米になるよう大切に育てたい。 	<p>B③ーア B④ーア</p>
<p>稲刈りに必要なことを調べ、お米を収穫しよう。(4時間)</p>		
<p>○稲刈りに向けて草刈りを行う。また、稲の観察をして、田んぼにいる虫や稲の病気について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの周りに草がたくさん生えているね。病気にかかりやすくなるから刈らないといけな。 ・黒くなっているお米があるよ。どうしてかな。 ・お米の病気について調べてみよう。 	<p>B②ーイ</p>
<p>○稲刈りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安田さんたちが水の管理や農薬まき等をして大切に育ててくれたお米を収穫しよう。 	<p>B②ーア</p>
<p>○もみすりや精米について調べ学習に取り組み、植村精米所を見学して白米になるまでの過程を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうやってもみから白米にするのかな。 ・大きな機械を使っていくつもの行程を経て、もみから普段食べている白米になるんだね。 ・病気になっているお米もあるよ。 	<p>C①ーア</p>
<p>四万十市の農業の現状を知ろう。(3時間)</p>		
<p>○四万十市の農業と地域の現状についてのデータを活用し、課題を読み取り、インタビューをして、さらに詳しく調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の島村さんのいただいた資料を見ると、四万十市の農業人口はどんどん減少していて、若い跡継ぎが少ないことが分かるね。 ・耕作放棄地が増えて、環境が悪化するんだね。 	<p>A①ーア A②ーア C③ーア</p>
<p>○四万十市の農業と地域の現状や課題をふまえ、自分たちが地域を盛り上げるためにしたいことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十市の農業の課題に対して、自分たちができることは何だろう。 ・地域を盛り上げるために、収穫したお米を生かしてできることがありそうだね。 	<p>B③ーア C①ーイ</p>
<p>具同小プロジェクトを立ち上げ、四万十農法米で地域を盛り上げよう。(16時間)</p>		
<p>○四万十農法米について調べ学習に取り組み、整理・分析して四万十農法米の良さを見つける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十農法米は、浅水代掻きや農薬の成分を標準より少なく使う等、環境に配慮した作り方をしているんだね。 ・売り上げの一部は四万十川を保全する基金に使われるそうだよ。様々な保全活動が行われているね。 	<p>B②ーイ B③ーア</p>
<p>○四万十農法米を生かして地域を盛り上げるためにできることを話し合う。(31/50 本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者に食べてもらって、元気になってもらいたいね。 ・農家の人たちの苦勞や努力をポスター等で、地域や観光客にPRして、農家さんを応援したい。 ・観光客に販売して、食べてもらって感想を聞きたいね。返信用の手紙を付けてはどうだろう。 ・売り上げの一部を基金に寄付しよう。 ・お世話になった人たちに食べてもらいたい。料理を作って招待してはどうだろう。 	<p>B③ーイ C②ーア</p>

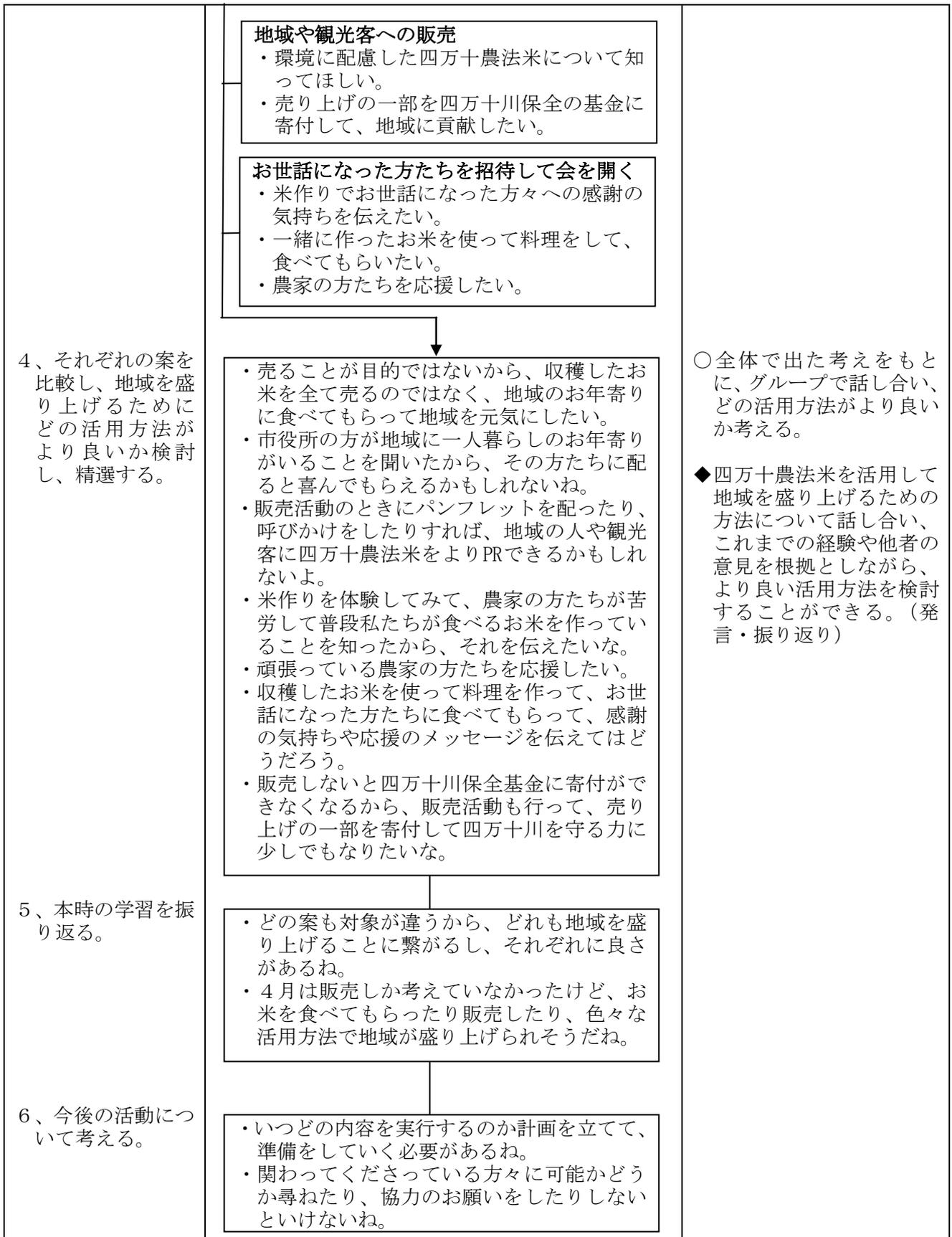
○具同小プロジェクトを実行するために、具体的な計画や準備に取り組む。	・地域の高齢者へお米と一緒に手紙も届けよう。 ・農家の方々の苦労や努力、農業の現状、自分たちの体験したことが伝わるポスターを作ろう。	A①ーイ C③ーイ
○販売活動を通して、地域や観光客の人たちへ四万十農法米をPRする。	・相手に伝えるにはどうすれば良いだろう。 ・買ってもらうには販売方法も工夫しないとイケないね。	C③ーウ
○地域の高齢者の方へお米を配布する。	・同じ地域に住む高齢者の方に元気になってもらえたら、少しでも地域を盛り上げられたのかな。	
「四万十の食で地域を盛り上げ隊」の活動を振り返り、郷土に対する思いを発表しよう。(9時間)		
○具同小プロジェクトを振り返り、これまでの学習をまとめ、お世話になった方を招待して報告会を開く。	・自分たちで考えたプロジェクトを通して、地域の農家、高齢者、観光客の方々を少しでも元気づけたり盛り上げたりすることができたね。 ・でも、まだ農業の課題は改善されていないから、これからも自分たちのふるさとを盛り上げていきたいね。 ・将来もっと地域に貢献できる人になりたいな。 ・このことを4年生にも伝えたいね。	C①ーア C③ーウ

5 本時の学習 (31 / 50)

(1) 本時の目標

収穫した四万十農法米を生かして地域を盛り上げる方法について、理由や根拠、目的を示しながら話し合い、よりよい活用方法を精選することができる。

学習活動	子どもの意識の流れ	教師の支援及び留意点 (○) ・評価 (◆)
1、前時までの学習を想起する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">四万十農法米は環境に配慮した方法で作られ、売上げの一部は四万十川を保全する基金に使われることが分かったね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">農業は、高齢化や後継ぎ不足など多くの課題があったよ。</div>	○四万十農法米の良さや特徴を生かして、地域を盛り上げる方法を考えることができるよう、前時までの学習を想起させる。
2、本時のめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">四万十農法米を生かして地域を盛り上げるために、自分たちにできることは何だろうか。</div>	
3、四万十農法米をどのように役立てるかを考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">地域のお年寄りへの配布 ・地域のお年寄りに食べてもらって元気になってもらいたい。 ・食べてもらうことで、四万十農法米について地域にもっと広めたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> パンフレット作りや呼びかけ ・米作り体験を通して学んだ農家の人たちの苦労や努力を知ってほしい。 ・米作りは良い自然環境を保つために役立っていることなど良さを伝えたい。 ・四万十市の農業の現状を伝えて、後継者不足の解消につなげたい。 ・具同小学校のみんなに伝えるのもいいね。 </div>	



板書計画

11/20
(火)

めあて 四万十農法米を生かして地域を盛り上げるために、自分たちにできることは何だろうか。

地域の高齢者に配る

- ・手紙をつけて元気づけたい。
- ・高齢者が増えているから。

地域の人や観光客に販売する

- ・呼びかけをして農業の現状や農家の苦勞を知ってほしい。
- ・パンフレットを作って配布すると後で見返してもらえる

四万十川保全基金に寄付する

- ・四万十川保全の取り組みに協力して、自然を守りたい。

お世話になった人たちに食べてもらう

- ・農業は大変 →農家の人を応援したい。
- ・たくさんのことを教えてくれた人たちに感謝を伝えたい。